

左 隣 県 系 に 於 け る 杉 挿 木 養 苗 に つ い て の 考 察

林務課 小 谷 内 正 一

挿木に於る杉の苗木養成は、苗木の採取、穂巻、挿付要領等の完全でなければならぬが、能率が上り最も有利な事を要求している事業方面では比較的簡単な挿木法である事を余蘊なくさせられる。

従来生産して来た一般の杉挿木苗は、梢頭部だけに枝葉をつけた、前讀竹壽狀の形の苗木が多いが今少しく形の良い苗木を仕立てる林に工夫す可きであらうと想う。穂巻の際、挿木全長の三分の一及至二分の一程度しか枝葉を着けぬが、それは出来上った苗木の形を悪くする所以であるから、穂巻に於て注意する事は肝要である。

次に挿付上注意すべき事は、確實にして能率の上る方法を講ず可きである。地中に挿込む部分の枝葉が切り落されてゐる挿木であれば直挿しも概ねよからうが、形の良い苗木を作るための挿木では無理が生じ易い。故に残り葉を掘つて溝底を固く踏丹つけ此の溝に挿木を一寸程度の深さに挿し込み取柄が齊なら上を新七踏丹つける挿付法がよい。此の銀挿しを假植式挿付とでも云つた方が適當な言葉である。特に不馴れの人夫と大規模の挿木事業では、最も能率が上り有利な挿付法と云えよう。

佐賀縣管方面に於て今年春の実績では此の假植式挿付法が非常に効果的であつた。尤も挿木を経験しない素人五〇名余りで、数拾万の挿木に、生澗流水の使はなく、敏速に挿付を必要としていた都合から斯る方法にも採つて来たのであるが今茲能率が著る方法としての直挿に比べると次の利夫が云える。

- 1 直挿に於ては挿木の都合から基部の枝葉はつい切り落され、悪い形の苗に仕向けられ易いが本挿付法では其の憂いはない。
- 2 挿込みの際苗木の深傷が少く、深さも一律にする事が容易である。
- 3 下部の枝葉の一部は地中に埋まるから菌に対し挿木の動揺が少い林である。
- 4 工期は直挿せ一人一日 600 本であるが、本法では 700 本内外挿付した。但しこの工期は穂巻及び挿付を一貫した作業のときである。
- 5 6 月初旬に於ける枯死木の割合は、直挿木 30% であるのに対し、本法は 15% である。要するに假植式挿付法は形の良い苗木を仕立てる上に挿付作業は極めて都合が良く素性の良い苗木を大量にややく生産すること出来る。又素人でも安心して行い得る挿付法であると思ふ。少くも大規模挿木事業で施設不充實の苗圃に於て敏速実施の方法としては効果的であることを更けて申す次第である。

佐賀縣の杉挿木養苗事業は近年着しく盛んとなつて来たが苗木の形の劣或は生産費の多、もつと突込んで行かざる可き必要が多分にあるので一回取りの成知事業に過ぎないことを取て願ふ所である。